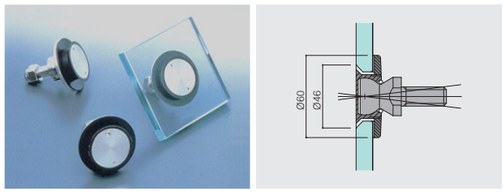
TEMPOINT

テンポイント

四隅に皿孔加工を施した強化ガラスを、フレキシブルに回転するロチュール（特殊ヒンジボルト）を用いて固定した、透明感に溢れるフレームレスガラス溝法です。

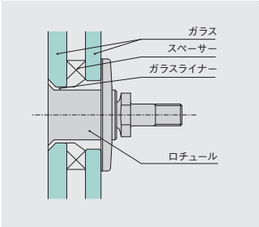
虎ノ門ヒルズ（東京都港区）
設計：株式会社日本設計 様

ガラス四隅に加工した皿孔と、ロチュール（特殊ヒンジボルト）によりガラスを支持します。皿孔を用いるため、ガラス表面は完全なフラットサーフェスとなります。ロチュールは、ヒンジボルトが自由に回転できる構造であり、ガラス面に加わる外力に対してガラスを無理に拘束することがありません。そのため、ガラス皿孔部に発生する応力が極めて小さくなり、一般的なボルト止めと比較して、耐風圧性能、耐震性能が格段に向上します。（特許登録済み）

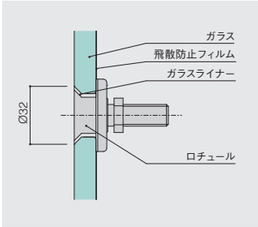


ロチュール

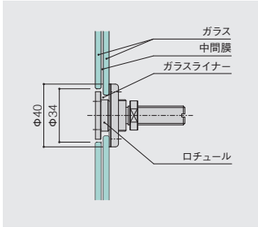
バリエーション



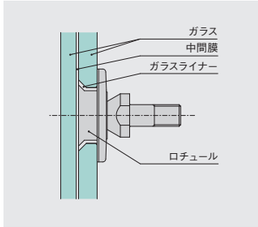
複層ガラス



小径ロチュール



薄板用ロチュール



ロチュール内蔵合わせ

ガラス

ガラス製品 P.36

対応ガラス

PT HS 単 遮熱 省エネ 合 安全 SUN 模様

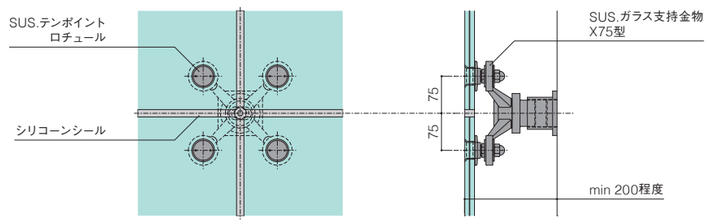
ガラス構成

単　板	PT10、12、15、19+飛散防止フィルム、HS10、12
合わせ	PT+PT、HS+HS、PT+HS（ストレート孔側）
複　層	HS+A12+HS、HS（Low-E）+A12+HS

※ガラス構成は、設計風圧、ガラスサイズに応じて、FEM（有限要素法）による計算を行って決定します。

製造可能寸法

最　小	100×250mm	最　大	2440×6000mm

金物参考例

納まり参考例